7. 河川全域における河川敷等のごみ調査

7. 河川全域における河川敷等のごみ調査

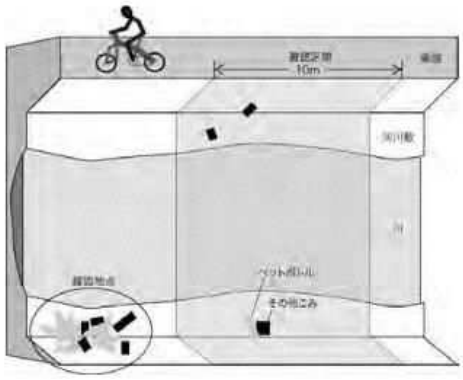
河川全域において河川敷敷等におけるごみの状況を調査した。

7-1 河川全域における河川敷等のごみ調査

7-1-1 調査方法

（１）調査方法

調査対象５河川（御笠川、釣川、長峡川、建花寺川、堂面川）の全域におけるごみの分布状況、ホットスポット（ごみが大量に堆積した箇所）等を自転車等で実際に踏査し、目視により確認した。



踏査は、河川片側側道を自転車で走行することで行った。確認の範囲は河道内、河川敷、側道及び必要に応じて河川に近接した場所とした。

ごみの分布状況等評価（ごみランク付け）は、河川内の橋の区間毎に評価することを基本とした。なお、河川敷には原則立ち入らず、側道上（片側）もしくは橋梁上からの目視確認であるため、草木に隠れたごみは実質的に確認できず、実際の数量より低く見積もっている恐れがある。

なお、通行できる側道がない区間や道路の構造上、踏査の困難な区間の評価は行っていない。

（２）調査地点

各河川の踏査距離（調査区間）及び踏査した橋数を表7-1-1に示す。

表7-1-1　各河川の踏査状況

河川名	踏査距離（調査区間）	踏査した橋数
御笠川	22,245ｍ	71
釣川	12,985ｍ	24
長峡川	13,660ｍ	31
建花寺川	5,705ｍ	24
堂面川	5,020ｍ	18

※調査の起点は河口あるいは別河川合流点から上流に向かって最初の橋とした。
調査区間は踏査できた区間であり、実際の河川全長距離とは一致していない。

（３）調査日

・御笠川　：令和6年1月26日、2月2日
・釣川　　：令和6年2月16日
・長峡川　：令和6年2月13日
・建花寺川：令和6年2月8日
・堂面川　：令和6年2月7日

7-1-2 調査結果

（１）御笠川

調査区間（22245m）におけるごみ容量は2242.5Lと推計される。

本河川は、所々でごみのホットスポットを確認したが、全体を通して内外でごみが極端に多い河川ではない。特徴としては、全域に渡り河川敷の木々に引っかかったプラスチック素材を中心としたごみ（ここでは「引っかかりごみ）と呼称）が多くみられたことである。御笠川は、過去、集中豪雨等により河川水量が極端に増加する水害が頻発した。その時に、木々に引っかかったごみが撤去されずそのままになっているものと想定される。

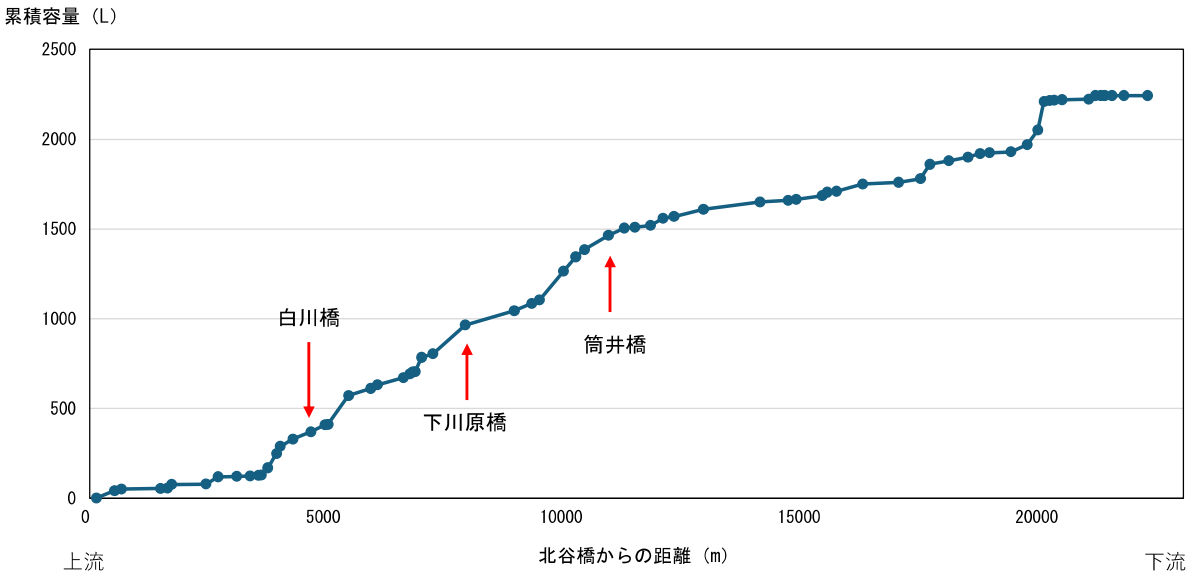


図7-1-1　御笠川のごみ容量（推計）

【御笠川における引っかかりごみ】

表7-1-2　御笠川ごみ分布状況

橋梁間の距離（m）	0	500	250	150	85	115	140	560	165	100	115	130	225	340	450	200	255	405	395	200
新千鳥橋からの距離（m）	0	500	750	900	985	1100	1240	1800	1965	2065	2180	2310	2535	2875	3325	3525	3780	4185	4580	4780
橋（下流）	博多湾	新千鳥橋	千鳥橋	恵比須橋	石堂大橋	石堂橋	東大橋	西門橋	緑橋	御笠新橋	御笠橋	作手橋	堅粕橋	東光橋	比恵新橋	比恵大橋	比恵橋	山王橋	平成大橋	金鳥橋
橋（上流）	新千鳥橋	千鳥橋	恵比須橋	石堂大橋	石堂橋	東大橋	西門橋	緑橋	御笠新橋	御笠橋	作手橋	堅粕橋	東光橋	比恵新橋	比恵大橋	比恵橋	山王橋	平成大橋	金鳥橋	東光寺橋
ランク	-	0	0	0	0	0	3	T	TT	TT	1	6	5	4	1	1	3	3	3	5
ホットスポット												○	△							△
主なごみ							缶、レジ袋、プラ容器包装	缶	缶	プラ片	プラ容器包装、ビン、製品プラ、タバコ	タバコ、プラ容器包装、缶、紙、ビニル、製品プラ、レジ袋、タイヤ	ペットボトル、缶、プラ容器包装、タバコ、紙容器包装、紙片、プラ片	プラ容器包装、ビニル、レジ袋、タバコ、紙容器包装、缶	タバコ、紙片、レジ袋、プラ片、缶	プラ片、ビニル、プラ容器包装、紙容器包装、ペットボトル、タバコ	缶、ペットボトル、ビニル、ひっかかりごみ、レジ袋、紙片、プラ容器包装、缶	缶、ペットボトル、プラ容器包装、紙片、ビニル、タバコ、レジ袋	紙片、プラ片、繊維、製品プラ、ペットボトル、缶	プラ片、レジ袋、紙、粗大ごみ（電子レンジ、車シート）

橋梁間の距離（m）	460	755	550	195	105	545	170	590	1190	620	235	260	330	220	335	505	180	260	505	160
新千鳥橋からの距離（m）	5240	5995	6545	6740	6845	7390	7560	8150	9340	9960	10195	10455	10785	11005	11340	11845	12025	12285	12790	12950
橋（下流）	東光寺橋	那珂大橋	なかよし橋	板付大橋	新宿橋	板付橋	上月隈橋	隅田橋	立花寺橋	金隈大橋	畑詰橋	御笠の森大橋	山田橋	御笠橋	笠抜橋	筒井橋	落合橋	古川橋	白鳥橋	下大利橋
橋（上流）	那珂大橋	なかよし橋	板付大橋	新宿橋	板付橋	上月隈橋	隅田橋	立花寺橋	金隈大橋	畑詰橋	御笠の森大橋	山田橋	御笠橋	笠抜橋	筒井橋	落合橋	吉川橋	白鳥橋	下大利橋	大野城橋
ランク	3	2	4	1	3	3	1	2	4	4	2	4	2	1	4	5	4	5	6	3
ホットスポット																				
主なごみ	プラ片、プラ容器包装、発泡スチロール、タバコ	ペットボトル、プラ片	ブルーシート、レジ袋、プラ片、ペットボトル、製品プラ	プラ片	プラ片、ビニル、木片、レジ袋	ペットボトル、プラ容器包装、ビニル、缶、レジ袋	ペットボトル、プラ片	ペットボトル、紙、プラ容器包装、プラ片	プラ容器包装、プラ片、ペットボトル、缶（スプレー）、ビニル、レジ袋	ひっかかりごみ、ペットボトル、ビニル	プラ容器包装、プラ片、レジ袋、ひっかかりごみ	プラ製品（フレコン）、缶、ペットボトル、プラ容器包装	ひっかかりごみ、金属くず	ペットボトル、プラ片	ひっかかりごみ、プラ片ペットボトル、レジ袋、缶	ビニル、レジ袋、ひっかかりごみ、ペットボトル、プラ片	ペットボトル、ビニル、プラ片、マスク、布	ひっかかりごみ、レジ袋、プラ片、缶、段ボール、製品プラ（パイプ）	粗大ごみ（自転車）、プラ容器包装、ビニル、プラ片、製品プラ（フレコン）、ひっかかりごみ	プラ片、ペットボトル、缶、製品プラ（シート）

橋梁間の距離（m）	370	1030	680	240	130	60	55	135	550	140	465	430	60	300	380	265	80	180	135	65
新千鳥橋からの距離（m）	13320	14350	15030	15270	15400	15460	15515	15650	16200	16340	16805	17235	17295	17595	17975	18240	18320	18500	18635	18700
橋（下流）	大野城橋	水城橋	下川原橋	水辺公園通り	半田橋	刈萱大橋	関屋橋	刈萱橋	東蓮寺橋	朱雀大橋	都府楼橋	観世音寺大橋	高橋口橋	五条橋	白川橋	建重寺橋	朝日橋	醍醐橋	浦之城橋	連歌屋橋
橋（上流）	水城橋	下川原橋	水辺公園通り	半田橋	刈萱大橋	関屋橋	刈萱橋	東蓮寺橋	朱雀大橋	都府楼橋	観世音寺大橋	高橋口橋	五条橋	白川橋	建重寺橋	朝日橋	醍醐橋	浦之城橋	連歌屋橋	岩蔵橋
ランク	4	5	6	3	5	TT	2	3	4	3	4	6	T	4	4	4	4	5	4	T
ホットスポット					△							○					△	△		
主なごみ	プラ片、ビニル、ごみ袋	ペットボトル、缶、ビニル、プラ容器包装、レジ袋、ひっかかりごみ、粗大ごみ（スノコ）	ひっかかりごみ、プラ片、ビニル、缶、プラ容器包装、タバコ、ペットボトル、レジ袋	ビニル、缶、プラ容器包装、ペットボトル	粗大ごみ（布団、自転車等）		ひっかかりごみ	ひっかかりごみ	ひっかかりごみ、レジ袋、ビニル、プラ片	プラ容器包装、ビニル、ペットボトル	ごみ袋、レジ袋、プラ容器包装、ペットボトル	プラ容器包装、レジ袋、ペットボトル、缶、紙製容器包装	プラ片	ペットボトル、紙製容器包装、ビニル、レジ袋、製品プラ（シート）	缶、ペットボトル、プラ容器包装、プラ片、ビニル	プラ製品、ビニル、木板、缶	缶、ビニル、マスク	粗大ごみ（雨どい、ブルーシート）、プラ片、ひっかかりごみ	ひっかかりごみ、レジ袋、発砲スチロール	プラ片

橋梁間の距離（m）	175	280	390	260	720	85	145	825	145	380	140
新千鳥橋からの距離（m）	18875	19155	19545	19805	20525	20610	20755	21580	21725	22105	22245
橋（下流）	岩蔵橋	三條橋	(名称不明)	普賢橋	三浦橋	太宰府大橋	天拝橋	(名称不明)	北谷口橋	松川橋	只越1号橋
橋（上流）	三條橋	(名称不明)	普賢橋	三浦橋	太宰府大橋	天拝橋	(名称不明)	北谷口橋	松川橋	只越1号橋	北谷橋
ランク	T	T	T	4	ー	3	TT	T	2	4	TT
ホットスポット											
主なごみ	缶、ビニル			ひっかかりごみ、紙製容器包装、粗大ごみ（トタン）		ひっかかりごみ、粗大ごみ（大きなもの）			農業用ビニル、プラ片	ブルーシート、ペットボトル、プラ片、ビニル	

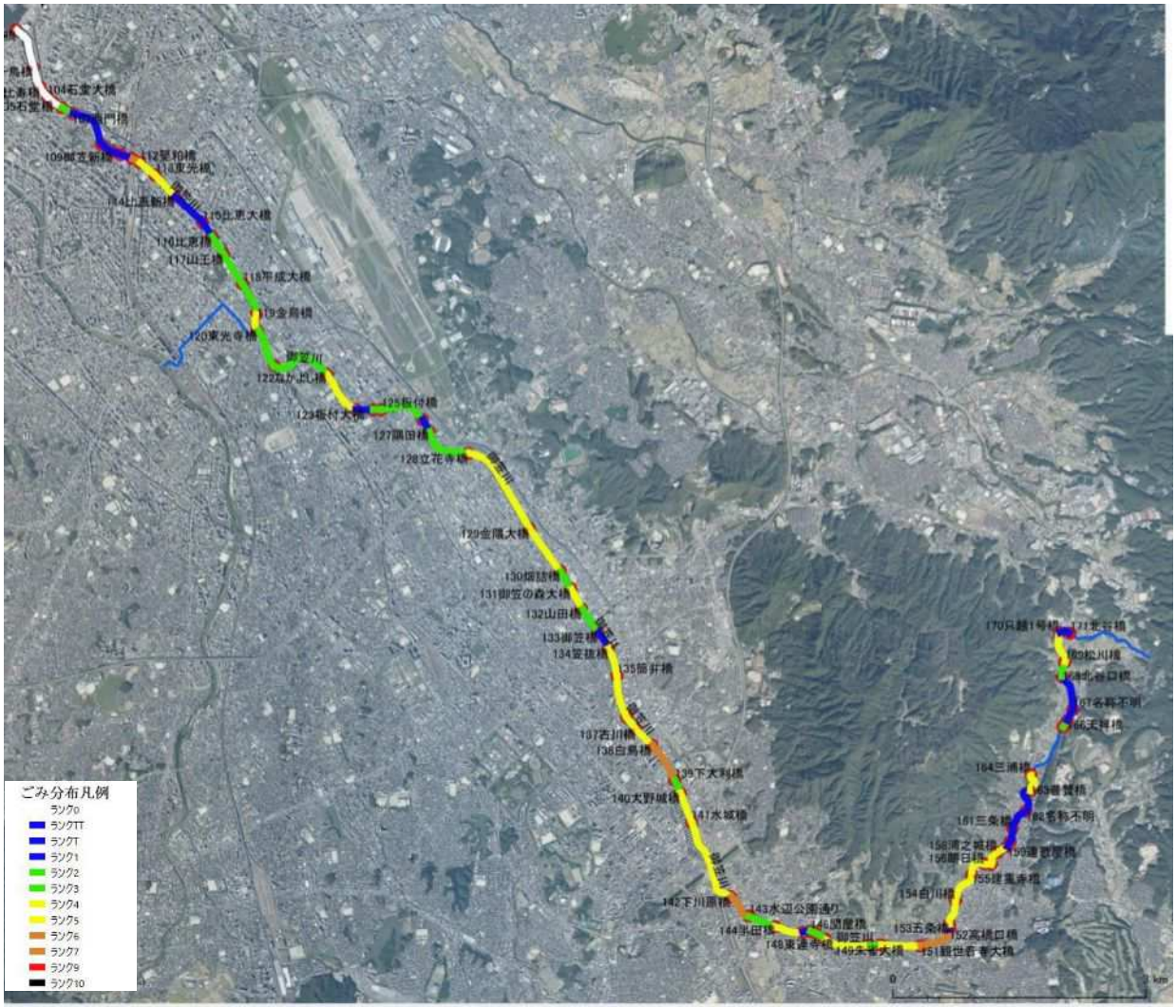
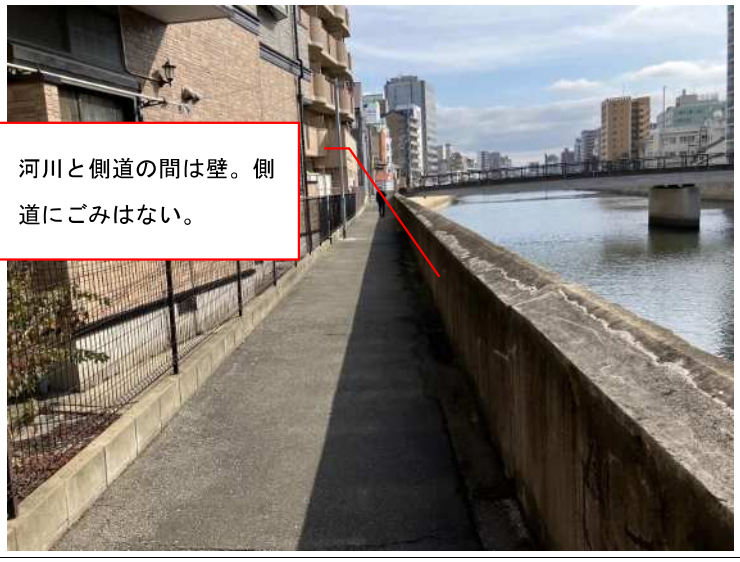


図7-1-2　御笠川のごみランク評価地図

図7-1-3　御笠川におけるごみのホットスポット

表 7-1-3　御笠川におけるごみのホットスポット等、その１

番号 区間（長さ、評価）	緯度・経度	状況
①作手橋～堅粕橋 （130m、ﾗﾝｸ 6）	33 度 35 分 42.60 秒 130 度 25 分 16.65 秒	 性状から自然に流下・堆積したとは考えにくい。不法投棄されたと想定。  河川と側道の間は壁。側道にごみはない。

※確認したごみ：タバコ、プラ容器包装、空き缶、紙、ビニル、製品プラ、レジ袋、タイヤ

表 7-1-4　御笠川におけるごみのホットスポット等、その２

番号 区間（長さ、評価）	緯度・経度	状況
②観世音寺大橋～ 高橋口橋 （430m、ﾗﾝｸ 6）	33 度 30 分 42.08 秒 130 度 31 分 22.86 秒	

※確認したごみ：プラ容器包装、レジ袋、ペットボトル、空き缶、紙製容器包装

表 7-1-5　御笠川におけるごみのホットスポット等、その３

番号 区間（長さ、評価）	緯度・経度	状況
③朝日橋～醍醐橋 （80m、ﾗﾝｸ 4）	33 度 31 分 12.25 秒 130 度 31 分 48.07 秒	 小学校近くの河川敷。空き缶が大量に投棄されていた。 同じメーカー・サイズの空き缶を大量に確認（30 本以上）。この空き缶は②の地点でも確認できた。

※確認したごみ：空き缶、ビニル、マスク

（２）釣川

調査区間（12985m）におけるごみ容量は405Lと推計される。

本河川は、全体を通してごみが少なかった。また、特徴的な事象も確認できなかった。

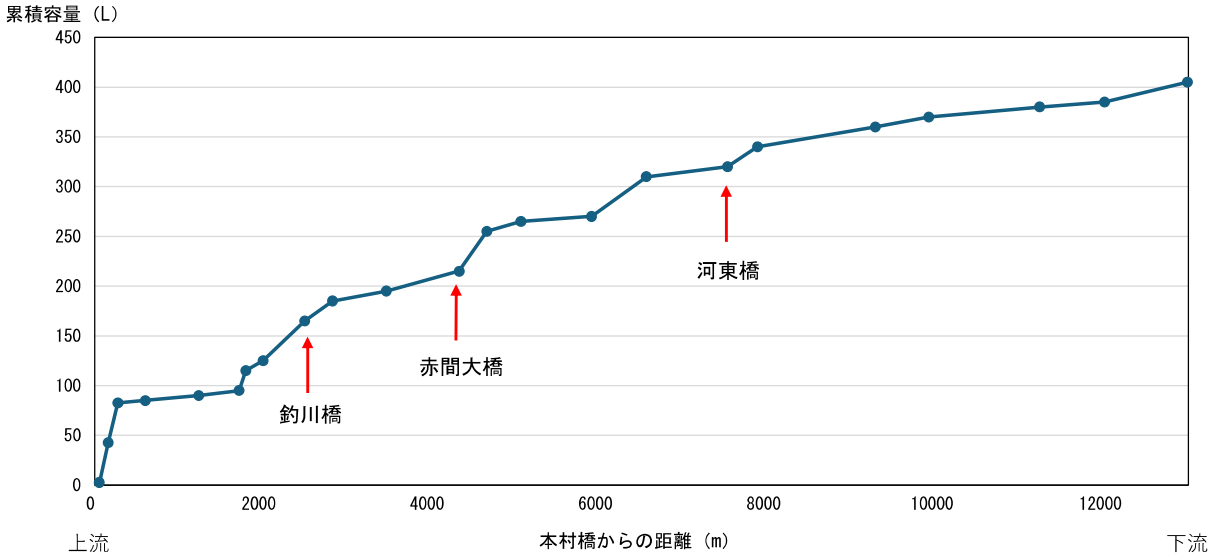


図7-1-4　釣川のごみ容量（推計）

【釣川は全体的にサイクリングロード、遊歩道が整備されている】

表 7-1-6　釣川ごみ分布状況

橋梁間の距離（m）	0	985	770	1320	635	1400	355	965	650	840	405	330	865
皐月橋からの距離（m）	0	985	1755	3075	3710	5110	5465	6430	7080	7920	8325	8655	9520
橋（下流）	玄界灘	皐月橋	砂山橋	川端橋	多礼橋	上多礼橋	上釣橋（内牟田橋）	河東橋	東郷橋	長町橋	野添橋	鍵橋	赤間大橋
橋（上流）	皐月橋	砂山橋	川端橋	多礼橋	上多礼橋	上釣橋（内牟田橋）	河東橋	東郷橋	長町橋	野添橋	鍵橋	赤間大橋	田久橋
ランク	TT	3	1	2	2	3	3	2	4	1	2	4	3
ホットスポット													
主なごみ		缶、プラ容器包装、発泡スチロール	紙製容器包装、マスク、ビニル、プラ容器包装、、紙、ペットボトル、缶	缶、レジ袋、ペットボトル、プラ容器包装	プラ容器包装、ペットボトル、缶、製品プラ（ボール）	缶、製品プラ、紙、ひっかかりごみ、プラ容器包装、ペットボトル、紙製容器包装	発泡スチロール、ペットボトル、レジ袋、プラ容器包装、缶、ひっかかりごみ	ひっかかりごみ、ペットボトル、レジ袋、肥料袋、ビニル、マスク、プラ容器包装	ビニル、ペットボトル、缶、レジ袋、プラ容器包装、ひっかかりごみ、マスク、紙、タイヤ	製品プラ、プラ容器包装、ペットボトル、ひっかかりごみ	プラ片、ビニル、プラ容器包装、レジ袋、ペットボトル、マスク、タオル	プラ容器包装、缶、紙、レジ袋、家電（扇風機）	プラ容器包装、紙、ペットボトル、レジ袋、マスク、紙製容器包装、缶、発泡スチロール

橋梁間の距離（m）	640	330	495	205	80	480	635	325	115	105	55
皐月橋からの距離（m）	10160	10490	10985	11190	11270	11750	12385	12710	12825	12930	12985
橋（下流）	田久橋	辻田橋	釣川橋	神興橋	赤馬橋	新赤間橋	太郎坊橋	今里橋	神幸橋	新橋	吉武橋
橋（上流）	辻田橋	釣川橋	神興橋	赤馬橋	新赤間橋	太郎坊橋	今里橋	神幸橋	新橋	吉武橋	本村橋
ランク	2	3	4	2	3	1	1	T	4	4	T
ホットスポット			○								
主なごみ	プラ片、ペットボトル、製品プラ（ボール）、マスク、プラ容器包装	缶、レジ袋、ペットボトル、ひっかかりごみ	ひっかかりごみ、缶、レジ袋、粗大ごみ（消火器）、紙製容器包装、製品プラ（プランター）、ペットボトル	プラ容器包装、ペットボトル、傘、靴、紙製容器包装	紙、レジ袋、ブルーシート、プラ容器包装、木板	レジ袋、製品プラ	レジ袋、缶、ペットボトル	紙製容器包装、プラ容器包装、肥料袋	ペットボトル、トタン	プラ容器包装、プラ製品、ペットボトル、缶、レジ袋	ペットボトル、プラ容器包装

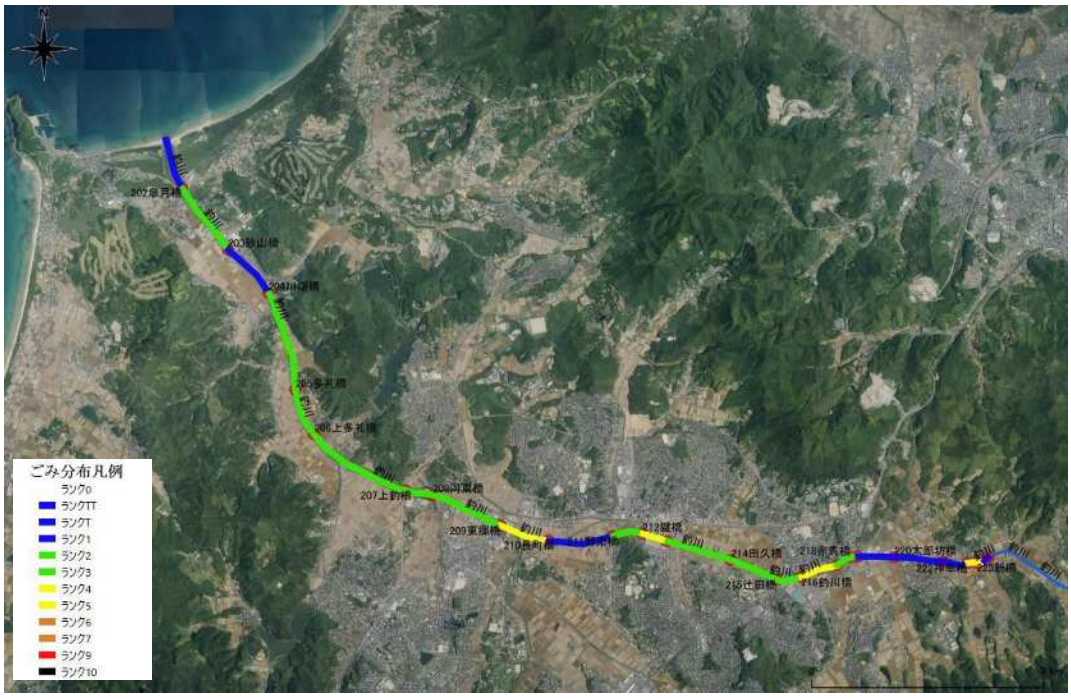


図7-1-5　釣川のごみランク評価地図

図7-1-6　釣川におけるごみのホットスポット

表 7-1-7　釣川におけるごみのホットスポット等

番号 区間（長さ、評価）	緯度・経度	状況
①釣川橋～神興橋 （495m、ﾗﾝｸ 4）	33 度 48 分 7.78 秒 130 度 35 分 21.79 秒	 消火器の投棄を確認。この近隣には火鉢も投棄されていた。
②釣川橋～神興橋 （495m、ﾗﾝｸ 4）	33 度 48 分 12.08 秒 130 度 35 分 38.30 秒	 大量のペットボトルが投棄されいた。橋の上から投棄された模様。この橋は、周りからも見通し良い。 水深が浅く、流されにくくなっている。

※確認したごみ：ひっかかりごみ、空き缶、レジ袋、粗大ごみ（消火器）、紙製容器包装、製品プラ（プランター）、ペットボトル

（３）長峡川

調査区間（13660m）におけるごみ容量は3353Lと推計される。

本河川は、下流（河口付近：市街地）と、中流から上流（農村地域）にかけての様相が大きく異なる。河口付近に至るまでは所々でごみのホットスポットを確認したが、河口付近を除くと内外でごみが極端に多い河川ではない。ところが河口付近の河道内において、ペットボトル等のプラスチック類を中心とした大量のごみの堆積を確認した。河口付近には、ヨシ等の抽水植物の群落が繁茂した水深の浅い土地が所々に存在し、潮の満ち引きによりごみが堆積しやすくなっている。本河川を流下するごみは、海域に流出するものもあるが、ここに多くが堆積しているものと考えられる。

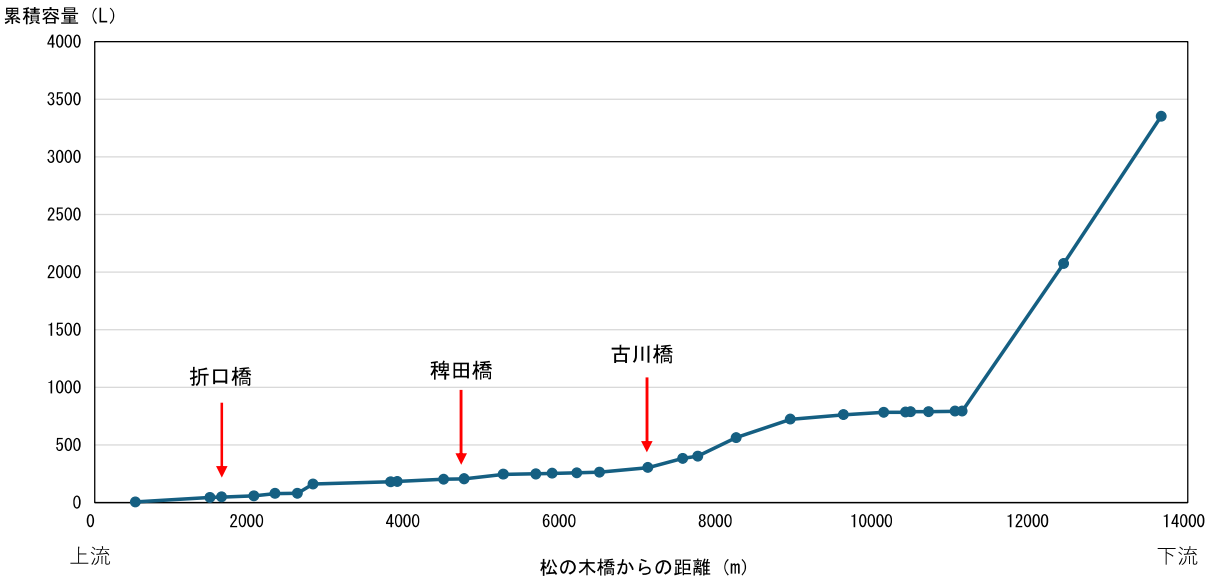


図7-1-7　長峡川のごみ容量（推計）

【長峡川は川幅が比較的大きく、流れも緩やか】

表 7-1-8　長峡川ごみ分布状況

橋梁間の距離（m）	0	1250	1300	90	340	230	65	280	515	680	695	490	195	445	620	290
長峡川大橋からの距離（m）	0	1250	2550	2640	2980	3210	3275	3555	4070	4750	5445	5935	6130	6575	7195	7485
橋（下流）	海	長峡川大橋	新長峡川橋	亀川橋	萬年橋（鉛屋橋）	簸川橋	長峡橋	交流橋	庄屋橋	津の熊橋	長音寺橋	亀川橋	長峡川橋	宮下橋	古川橋	熊本橋
橋（上流）	長峡川大橋	新長峡川橋	亀川橋	萬年橋（鉛屋橋）	簸川橋	長峡橋	交流橋	庄屋橋	津の熊橋	長音寺橋	亀川橋	長峡川橋	宮下橋	古川橋	熊本橋	中川渡橋
ランク	－	9	9	0	TT	TT	TT	TT	3	4	6	6	3	5	4	1
ホットスポット		○	○								△					
主なごみ		粗大ごみ（シート）、ペットボトル、缶、発泡スチロールプラ容器包装、レジ袋、プラ製品	ペットボトル、プラ容器包装、レジ袋、発泡スチロール、缶、プラ製品、紙製容器包装		缶、レジ袋	プラ片	木片	ペットボトル	ペットボトル、レジ袋、プラ容器包装、紙製容器包装、缶	ペットボトル、プラ容器包装、プラ製品（ボール）、紙製容器包装	レジ袋、ビニル、プラ製品、ペットボトル	ペットボトル、缶、プラ容器包装、レジ袋、紙製容器包装、ビニル、プラ製品（ごみ箱）、タイヤ	レジ袋、ペットボトル、プラ容器包装	ペットボトル、レジ袋、缶、ビン、ごみ袋	発泡スチロール、プラ製品、プラ容器包装、ペットボトル、レジ袋、タバコ	ペットボトル、缶、レジ袋

橋梁間の距離（m）	315	210	415	505	260	595	85	995	200	285	270	415	150	955	520
長峡川大橋からの距離（m）	7800	8010	8425	8930	9190	9785	9870	10865	11065	11350	11620	12035	12185	13140	13660
橋（下流）	中川渡橋	佛木橋	津留橋	銀杏ノ木橋	稗田橋	宮田橋	大堤橋	上稗田橋	上田橋	畠鉾橋	下川原橋	黒田橋	折口橋	箕田橋	長川橋
橋（上流）	佛木橋	津留橋	銀杏ノ木橋	稗田橋	宮田橋	大堤橋	上稗田橋	上田橋	畠鉾橋	下川原橋	黒田橋	折口橋	箕田橋	長川橋	松の木橋
ランク	1	1	TT	4	TT	3	TT	3	5	T	3	2	TT	4	1
ホットスポット															
主なごみ	ペットボトル、プラ容器包装、紙製容器包装	ビン、ペットボトル、缶、タバコ	プラ容器包装	ペットボトル、レジ袋、プラ容器包装、紙製容器包装	ペットボトル	ペットボトル、発泡スチロール、ビニル、紙製容器包装、プラ容器包装、缶、レジ袋、マスク	プラ容器包装、マスク	ペットボトル、紙製容器包装、プラ容器包装	タイヤ、レジ袋、ビニル	缶、レジ袋	ペットボトル、レジ袋、発泡スチロール、プラ製品、缶	ペットボトル、レジ袋、紙製容器包装、プラ容器包装	ペットボトル、缶	缶、紙製容器包装、段ボール、レジ袋、缶、ペットボトル	プラ容器包装、紙製容器包装、ビニル、レジ袋、ペットボトル

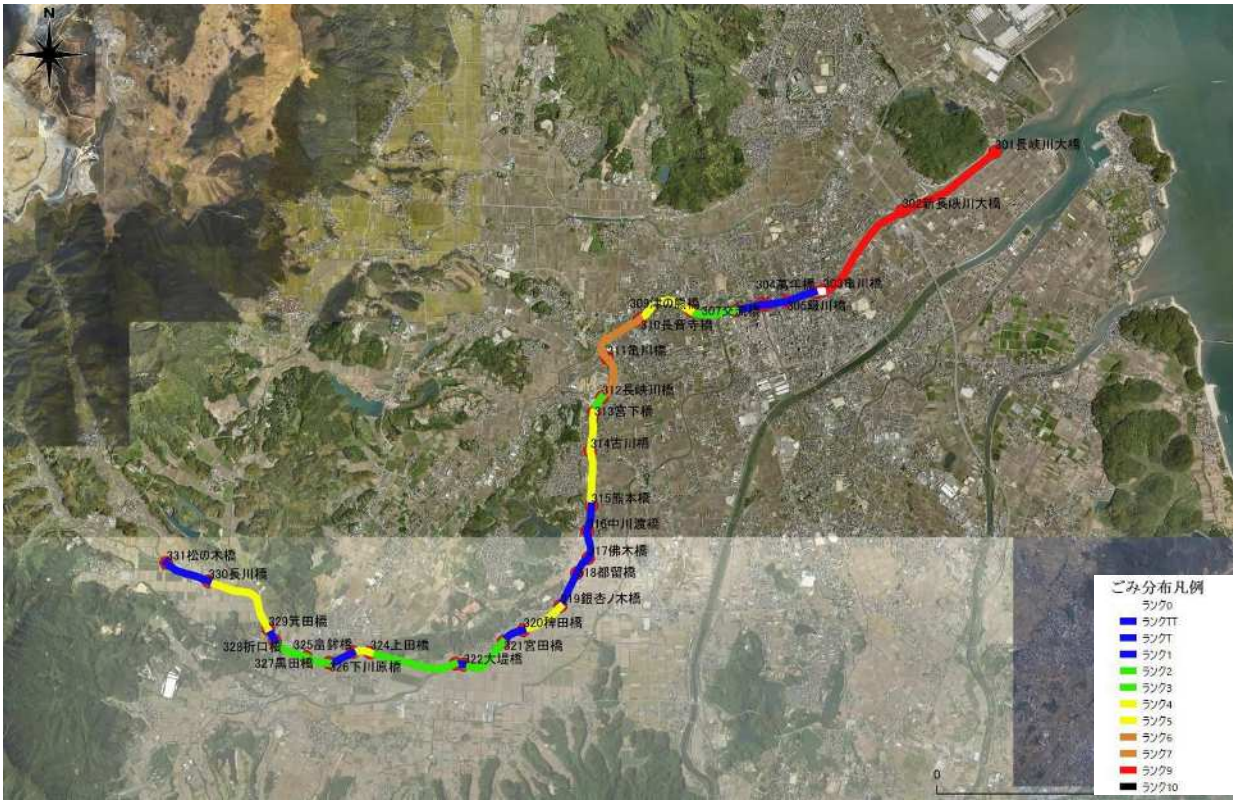


図7-1-8　長峡川のごみランク評価地図

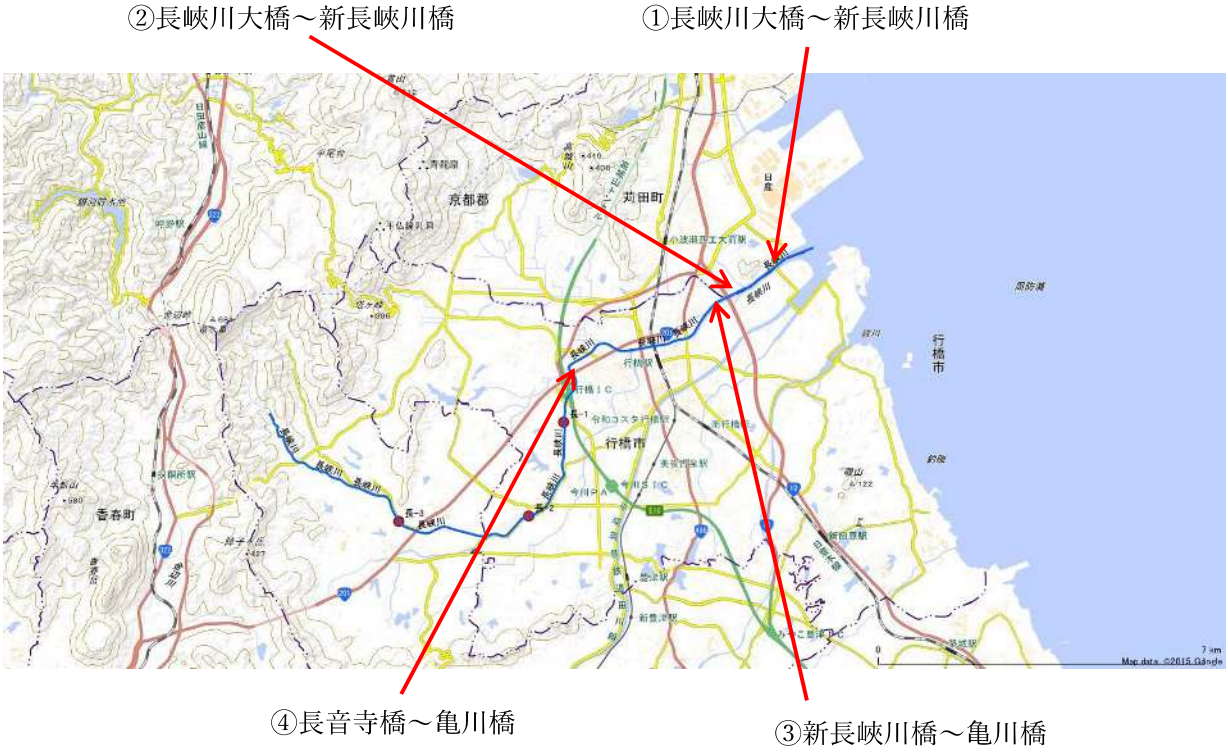


図7-1-9　長峡川におけるごみのホットスポット

表7-1-9　長峡川におけるごみのホットスポット等、その１

番号 区間（長さ、評価）	緯度・経度	状況
①長峡川大橋～ 新長峡川橋 （1250m、ﾗﾝｸ9）	33 度 44 分 51.36 秒 130 度 59 分 48.95 秒	
②長峡川大橋～ 新長峡川橋 （1250m、ﾗﾝｸ9）	33 度 44 分 30.52 秒 130 度 59 分 12.30 秒	

※確認したごみ：　粗大ごみ（シート）、ペットボトル、空き缶、発泡スチロールプラ容器包装、レジ袋、プラ製品

表 7-1-10　長峡川におけるごみのホットスポット等、その２

番号 区間（長さ、評価）	緯度・経度	状況
③新長峡川橋～ 亀川橋 （1300m、ﾗﾝｸ 9）	33 度 44 分 24.83 秒 130 度 59 分 6.20 秒	

※確認したごみ：　ペットボトル、プラ容器包装、レジ袋、発泡スチロール、空き缶、プラ製品、紙製容器包装

表 7-1-11　長峡川におけるごみのホットスポット等、その３

番号 区間（長さ、評価）	緯度・経度	状況
④長音寺橋～亀川橋 （695m、ﾗﾝｸ 6）	33 度 43 分 40.10 秒 130 度 56 分 59.16 秒	 河川に遊歩道があり、河川敷内にアクセスしやすい。同じメーカーの容器を多く確認したため不法投棄を想定したが、地形的に上流から流下したものが溜まった可能性もある。

※確認したごみ：　レジ袋、ビニル、プラ製品、ペットボトル

（４）建花寺川

調査区間（5705m）におけるごみ容量は 1115L と推計される。

本河川は、市街地を流れる部分と農村地帯を流れる部分で様相が大きく異なる。本調査では、特に最下流にあたる遠賀川合流点付近（市街地）の河川敷において大量のごみを確認した。ペットボトル、容器包装等のプラスチックばかりでなく、大型の粗大ごみも確認でき、本地点は不法投棄されたごみが経年で堆積し続けていることが想定される。この地点は車の通行もあったが、自転車（学生）も多く通行していた。農村地帯では河川内外のごみ量は少なかった。

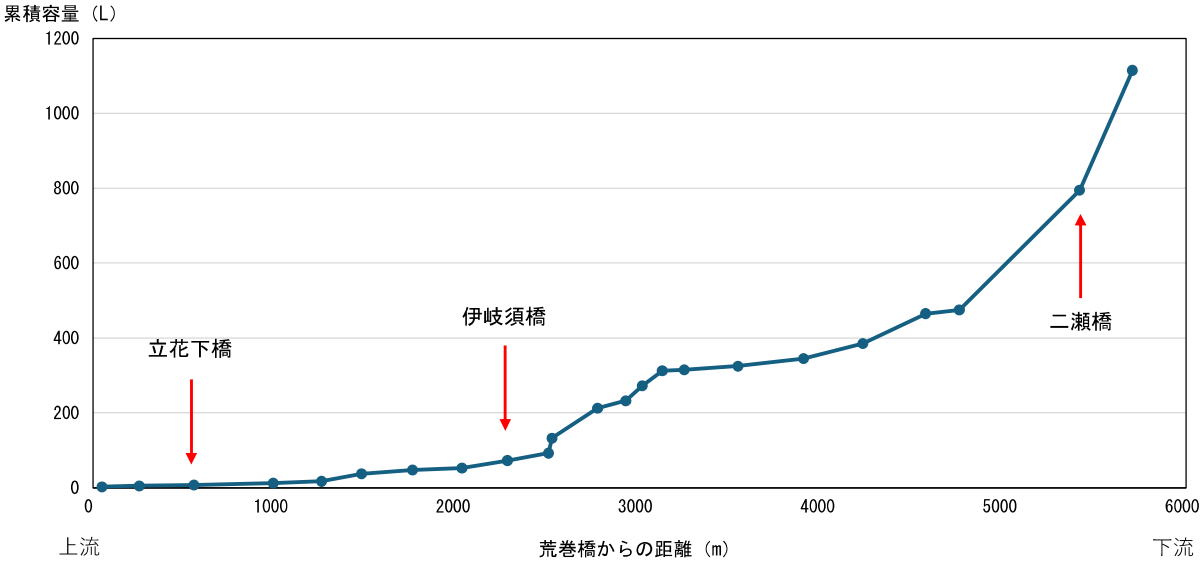


図 7-1-10　建花寺川のごみ容量（推計）

【建花寺川は商工業地、住宅地を流れる小河川】

表7-1-12　建花寺川ごみ分布状況

橋梁間の距離（m）	0	290	660	185	345	325	360	295	120	110	90	155	250
遠賀川合流点橋からの距離（m）	0	290	950	1135	1480	1805	2165	2460	2580	2690	2780	2935	3185
橋（下流）	遠賀川合流点	遠賀川合流点橋	二瀬橋	森本橋	新二瀬橋	新横田橋	横田橋	大森橋	日新橋	(名称不明)	(名称不明)	井出浦橋	(名称不明)
橋（上流）	遠賀川合流点橋	二瀬橋	森本橋	新二瀬橋	新横田橋	横田橋	大森橋	日新橋	(名称不明)	(名称不明)	井出浦橋	(名称不明)	高宮橋
ランク	－	7	7	2	5	4	3	2	T	4	4	3	5
ホットスポット		○	○								△		
主なごみ		ペットボトル、プラ製品、ビニル、紙製容器包装、プラ容器包装、プラ片、缶、タバコ、紙、レジ袋、家電（テレビ、冷蔵庫）	ペットボトル、プラ製品、プラ容器包装、ビニル、紙、紙製容器包装、段ボール、レジ袋、家電（プリンタ）	プラ容器包装、ビニル、紙製容器包装、ペットボトル	ペットボトル、缶、プラ容器包装、レジ袋、紙、紙製容器包装、段ボール、プラ製品、ビン	レジ袋、ペットボトル、ごみ袋、ビニル、プラ容器包装、紙製容器包装	缶、ビニル、プラ容器包装、プラ製品、ペットボトル、レジ、ビン、紙	プラ片、ペットボトル、紙製容器包装、発泡スチロール、プラ容器包装、レジ袋	紙製容器包装、ペットボトル	レジ袋、プラ片、ペットボトル、缶、プラ容器包装、紙製容器包装	ペットボトル、プラ容器包装、、紙製容器包装、ビニル、レジ袋、段ボール	ペットボトル、紙、紙製容器包装、、プラ容器包装、レジ袋	ペットボトル、レジ袋、ビニル、プラ容器包装、、マスク、プラ製品（パイプ）、自転車

橋梁間の距離（m）	20	225	250	270	280	220	265	435	300	205	50
遠賀川合流点橋からの距離（m）	3205	3430	3680	3950	4230	4450	4715	5150	5450	5655	5705
橋（下流）	高宮橋	七夕田橋	伊岐須橋	前田橋	飛熊橋	深町橋	新乙丸橋	新持田橋	立花下橋	古野橋	堂園橋
橋（上流）	七夕田橋	伊岐須橋	前田橋	飛熊橋	深町橋	新乙丸橋	新持田橋	立花下橋	古野橋	堂園橋	荒巻橋
ランク	4	3	3	1	2	3	1	1	TT	TT	TT
ホットスポット											
主なごみ	缶、レジ袋、プラ製品、紙製容器包装、タイヤ	缶、レジ袋、プラ製品、紙製容器包装、ペットボトル、プラ容器包装	マスク、プラ片、紙製容器包装、缶、プラ容器包装	ペットボトル、レジ袋、ビニル、プラ容器包装、、缶、紙	ペットボトル、紙製容器包装、、プラ片、プラ製品、レジ袋	プラ製品（シート）、レジ袋、ペットボトル	トタン、プラ片、プラ容器包装、レジ袋	紙製容器包装、レジ袋、紙、缶、ビニル	プラ容器包装	ビニル	紙

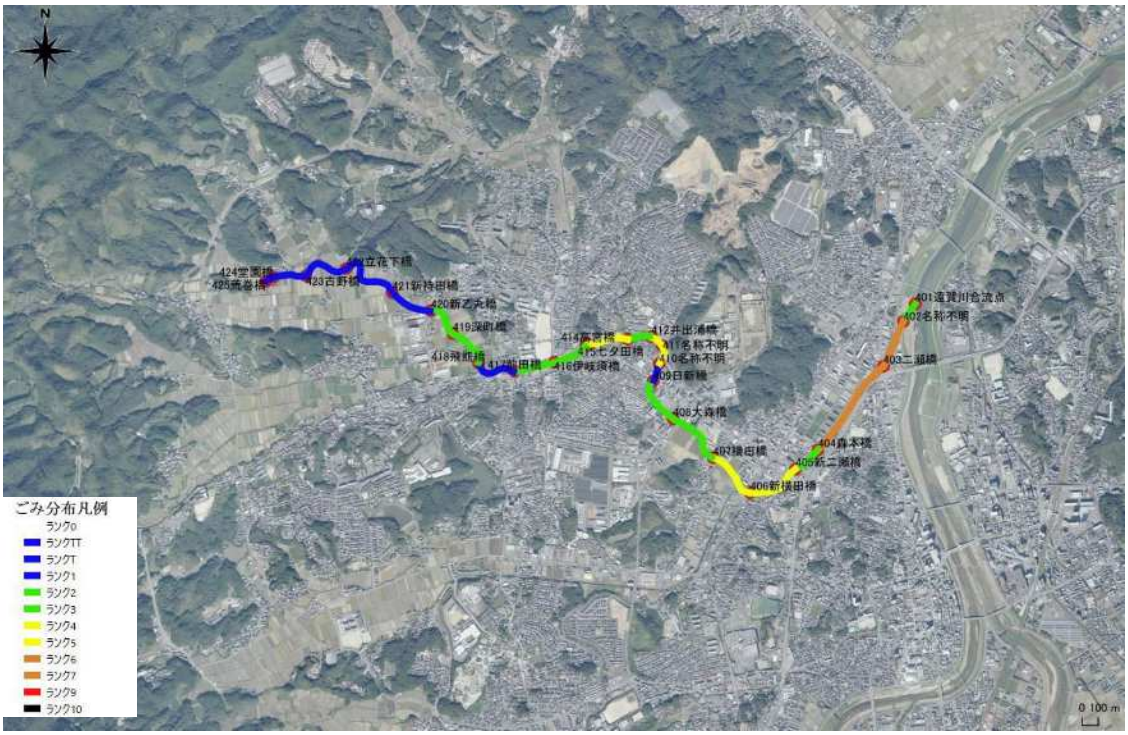


図7-1-11　建花寺川におけるごみランク評価地図

図7-1-12　建花寺川におけるごみのホットスポット

表7-1-13　建花寺川におけるごみのホットスポット等、その１

番号 区間（長さ、評価）	緯度・経度	状況
①遠賀川合流点橋（仮称）～二瀬橋 （290m、ﾗﾝｸ 7）	33 度 39 分 10.10 秒 130 度 40 分 59.32 秒	

※確認したごみ：　ペットボトル、プラ製品、ビニル、紙製容器包装、プラ容器包装、プラ片、空き缶、タバコ、紙、レジ袋、家電（テレビ、冷蔵庫）

表7-1-14　建花寺川におけるごみのホットスポット等、その２

番号 区間（長さ、評価）	緯度・経度	状況
②二瀬橋～森本橋 （950m、ﾗﾝｸ 7）	33 度 39 分 6.76 秒 130 度 40 分 56.70 秒	

※確認したごみ：　ペットボトル、プラ製品、プラ容器包装、ビニル、紙、紙製容器包装、ダンボール、レジ袋、家電（プリンタ）

（５）堂面川

調査区間（5020m）におけるごみ容量は463Lと推計される。

本河川の調査区間は市街地であった。ごみの多かった区間は特になかった（一部区間で、河道内に古い大型ごみがありごみランクが上がった）。但し、河口付近の側道の複数個所において不法投棄を確認した。このごみが本河川に流出している様子はないが、広い範囲でごみが散乱していたことから、潜在的な発生源とはなりうる。

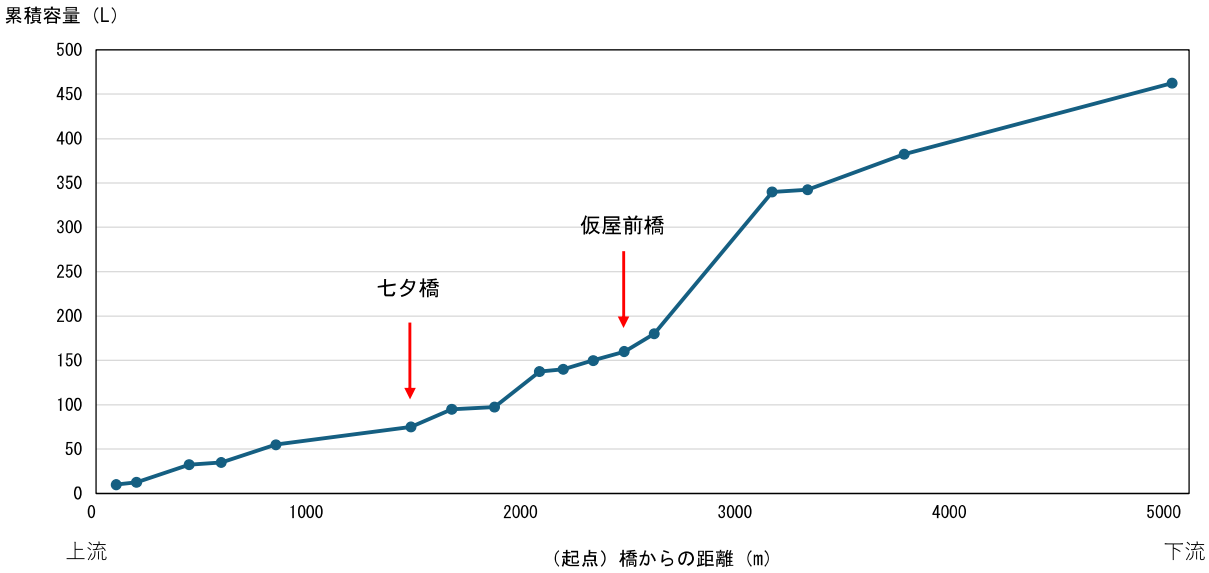


図7-1-13　堂面川のごみ容量（推計）

【堂面川は住宅地を流れる小河川】

表7-1-15　堂面川ごみ分布状況

橋梁間の距離（m）		1250	450	165	550	140	145	140	110	210	200	190	630	255	150	245	95	95
健昭橋からの距離（m）	0	1250	1700	1865	2415	2555	2700	2840	2950	3160	3360	3550	4180	4435	4585	4830	4925	5020
橋（下流）	海	健昭橋	新堂面橋	堂面橋	横手橋	下白川橋	仮屋前橋	仮屋川橋	白川橋	畔切橋	菜摘橋	下田崎橋	七夕橋	御幸返橋	高泉１号橋	平野下橋	大水口橋	神田脇橋
橋（上流）	健昭橋	新堂面橋	堂面橋	横手橋	下白川橋	仮屋前橋	仮屋川橋	白川橋	畔切橋	菜摘橋	下田崎橋	七夕橋	御幸返橋	高泉１号橋	平野下橋	大水口橋	神田脇橋	（名称不明）
ランク	－	5	4	TT	6	3	2	2	T	4	T	3	3	3	TT	3	T	2
ホットスポット		○																
主なごみ		ペットボトル、プラ容器包装、プラ製品、発泡スチロール、紙製容器包装、プラ片	段ボール、プラ容器包装、プラ製品、レジ袋、家電（テレビ）	プラ片、紙	プラ片、照明器具、プラ容器包装、レジ袋、ペットボトル、木板、粗大ごみ（カーペット）	レジ袋、プラ容器包装、ペットボトル、紙製容器包装、家電	缶、プラ製品、時計、プラ容器包装、紙製容器包装、レジ袋、ビニル	ビニル、レジ袋、ペットボトル	缶	タイヤ、紙製容器包装、プラ容器包装、缶	缶、プラ片、レジ袋	プラ片、プラ製品（ボール）、缶、レジ袋、ペットボトル、発泡スチロール	ペットボトル、プラ容器包装、紙製容器包装、レジ袋、ビニル、プラ片、缶	缶、レジ袋、紙、プラ容器包装、紙製容器包装、段ボール	プラ片	プラ容器包装、トタン、ビニル、プラ製品	レジ袋、プラ容器包装、紙	レジ袋、缶、紙製容器包装、ペットボトル

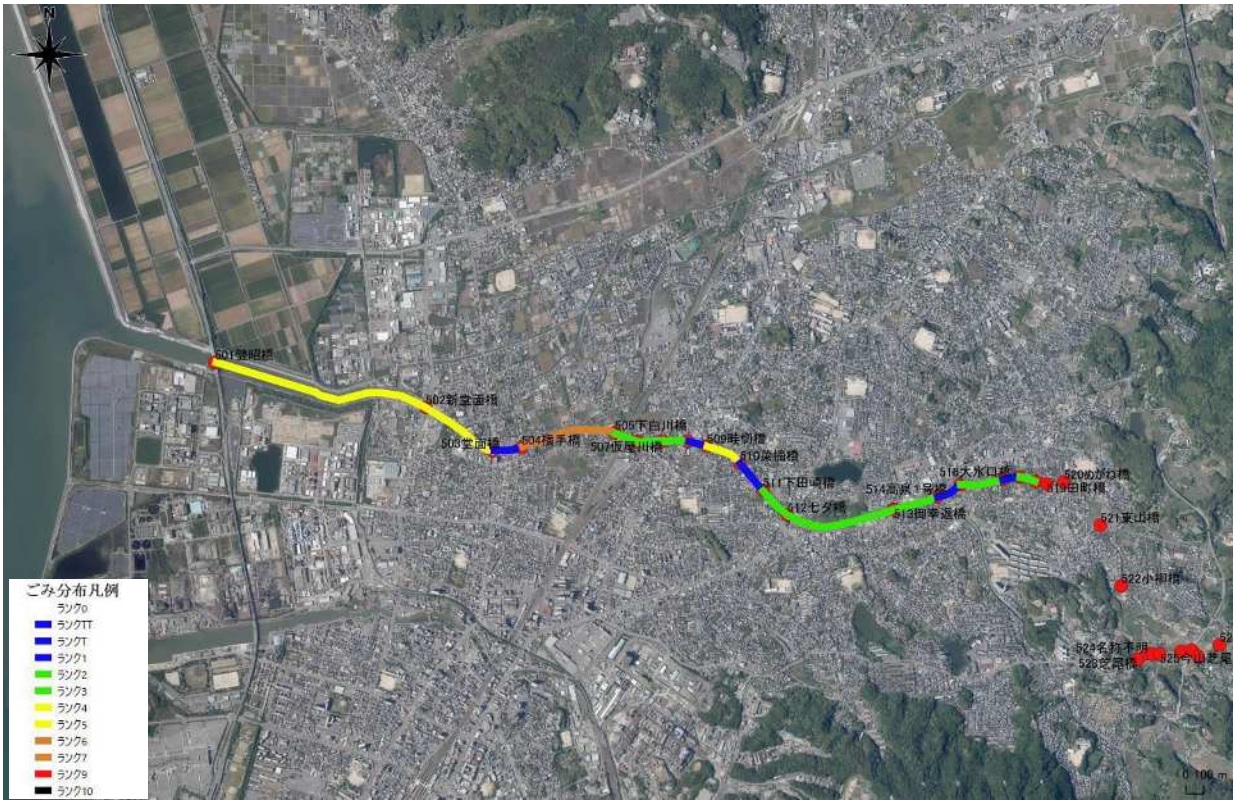
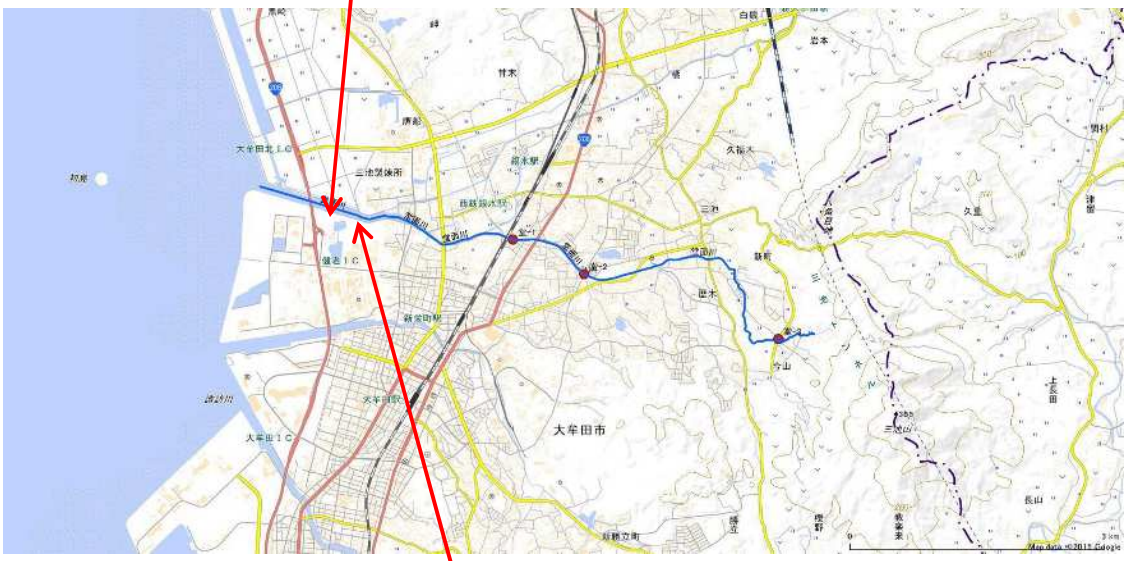


図7-1-14　堂面川のごみランク評価地図

①健昭橋～新堂面橋、②健昭橋～新堂面橋　※側道



③健昭橋～新堂面橋　※側道

図7-1-15　堂面川におけるごみのホットスポット

表7-1-16　堂面川におけるごみのホットスポット等、その１

番号 区間(長さ、評価)	緯度・経度	状況
①健昭橋～新堂面橋 (1250m、ﾗﾝｸ5)	33 度 2 分 59.51 秒 130 度 25 分 58.17 秒 ※このごみは、区間評価（ランク）に用いていない。 本河川側道（河口付近）周辺の複数個所において、不法投棄を確認した。 このような堤防があるため、河川にごみが流入する可能性は低い。 この道路はほとんど通行人・車はないと思われる。	

※確認したごみ：　ペットボトル、プラ容器包装、プラ製品、発泡スチロール、紙製容器包装、プラ片

表7-1-17　堂面川におけるごみのホットスポット等、その２

番号 区間（長さ、評価）	緯度・経度	状況
②健昭橋～新堂面橋 （1250m、ﾗﾝｸ5）	33 度 2 分 59.29 秒 130 度 25 分 57.88 秒 ※このごみは、区間評価（ランク）に用いていない。	 １年以上前からこの状態（web 地図で確認）。
③健昭橋～新堂面橋 （1250m、ﾗﾝｸ5）	33 度 2 分 58.07 秒 130 度 26 分 4.64 秒 ※このごみは、区間評価（ランク）に用いていない。	

※確認したごみ：　プラ製品、ペットボトル、プラ容器包装、紙製容器包装、プラ片

【2013(平成 25)年 4 月】

10 年以上前から大規模な不法投棄

【2014(平成 26)年 11 月】

不法投棄防止の看板が設置。大型のごみは撤去されているが、まだごみは多い。

【2022(令和 4)年 11 月】

目立ったごみはない。

【2023(令和 5)年 11 月】

目立ったごみはない。

【2024(令和 6)年 2 月】

1 年前よりごみが増えている。このごみは比較的近い時期に投棄されたことが分かる。

図 7-1-16　＜参考＞①健昭橋～新堂面橋のごみホットスポットの変遷

※2024年2月以外はGoogleストリートビューより抜粋

（6）まとめ

各河川で距離（1m）あたりのごみ容量を算出したところ、長峡川が最も大きく、釣川が最も小さい。長峡川は河口付近の河道内でごみが大量に堆積していることから、距離当たりのごみ容量も大きくなった。

表7-1-18　各河川の距離あたりごみ容量の比較

河川	御笠川	釣川	長峡川	建花寺川	堂面川
調査区間	22245m	12985m	13660m	5705m	5020m
ごみ容量	2242.5L	405L	3353L	1115L	463L
距離あたりごみ容量	0.10 L/m	0.03 L/m	0.25 L/m	0.20 L/m	0.09L/m